

「みよし市なかよし中央地区」都市再生整備計画事業事後評価

第2回 事後評価検討会議 次第

平成29年11月16日 10時15分～
みよし市図書館学習交流プラザ サンライズ
2階 多目的室

1. 開会

2. 議 事

(1) 今後のまちづくりについての審議

資料1

(2) 事後評価シート（案）についての審議

資料2

(3) その他

《今後のスケジュール》

- ・平成29年12月中旬 国へ提出
- ・平成30年3月頃 本提出・公表
- ・平成30年4月以降 フォローアップの実施

3. 閉 会

<今後のまちづくりについての審議>

1 まちの課題の変化

資料 1

まちづくりの課題	整備方針	実施事業	達成されたこと (課題の改善状況)	事業後に残された課題	事業によって発生した 新たな課題
課題1 文化・学習・交流の拠点形成 ・ 中心市街地内の特性、資源を生かし、景観等に配慮した、知的、文化的ニーズ、自己表現の自主的な活動及びみよしの情報発信による多用途的な交流を創出する文化、学習、交流の拠点形成を図る。	〔にぎわいと魅力あるまちづくり〕 ・ 市民ニーズの高度化、多様化に対応した文化、学習、交流の情報発信拠点施設の整備を図る。 ・ 複合施設を中心としたにぎわいの創出を図る。 ・ 総合公園である三好公園と中心拠点のアクセス性向上を図るため、前田緑道を整備する。	(基幹) (仮) 地域交流センター(高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業)) 複合施設周辺サイン(地域生活基盤施設(情報板)(地方都市リノベーション事業)) 図書館(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設)) (仮) 情報のみち整備事業(高質空間形成施設(カラー舗装)) (関連) 前田緑道整備事業	○ 図書館、生涯学習、公民館、交流機能の更新により、4つの機能を集約したことで、文化、学習、情報発信の拠点が確保され、今まで交流の少なかった市内3地区の市民交流の活性化に寄与した。 ○ 市役所をはじめ、三好公園などの周辺施設と中心拠点との連携ができ、ネットワークの良好性が向上した。	● 図書館の利用者数、貸出冊数は増加しているものの、今後も図書館の利用促進を図るための企画立案を始め、情報提供など、各種対策が求められる。	● 整備された拠点施設や緑道等の利用促進を今後も図ることが求められる。 ● 生涯学習講座の充実や(仮)地域交流センターを活用する新たな企画などの立案により、施設の利用促進を図ることが求められる。
課題2 施設の更新・再配置 ・ 中心市街地の公共施設は古くに建設されたものであり、狭小で陳腐化しているとともに老朽化が著しく進んでおり、本市の人口に見合った規模の魅力ある施設に更新しながら再配置を行う。	〔安心安全な交流・活動の機会の創出〕 ・ 老朽化し、耐震性能の劣る施設の整備を図る。 ・ 市民が安心安全で利用できる交流施設の整備を図る。	(基幹) (仮) 地域交流センター(高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業)) 図書館(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設)) (仮) 情報のみち整備事業(高質空間形成施設(カラー舗装)) (関連) (仮) 子ども総合支援センター	○ 中心市街地の老朽化した施設の更新が図られ、旧図書館を(仮)子ども総合支援センターとして既存ストックを有効活用し、子育てに関する相談窓口、親子で遊べるふれあい広場、ファミリーサポートセンターを移転させることで、子育て世帯をサポートする拠点が確保された。 ○ 「市役所西バス停」を施設に併設させて1箇所に統合することで、安全性及び利便性が向上した。		● 安全・安心な公共施設を維持するため、適切な施設の管理・運営が求められる。 ● さらなる市民間交流のための、バス等の交通網のアクセス環境の維持・改善を図ることが求められる。
課題3 市民間交流のための施設整備 ・ きたよし地区、なかよし地区、みなよし地区の住民が交流する機会が少ないため、地区間、市民間交流の機会を増やすための施設整備を図る。					
課題4 都市中枢機能の集約・更新 ・ 今後、本市が直面する、少子、高齢化に備え、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを行っていく必要があるため都市中枢機能の集約・更新を図る。	〔コンパクトなまちづくり〕 ・ 市民が、安全で安心して活用できる施設の配置、整備を図る。	(基幹) 中島地区公園整備(公園) (仮) 地域交流センター(高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業)) 図書館(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設)) (仮) 情報のみち整備事業(高質空間形成施設(カラー舗装)) 複合施設周辺サイン(地域生活基盤施設(情報板)(地方都市リノベーション事業)) (関連) (仮) 駐車場整備事業 前田緑道整備事業 (仮) 子ども総合支援センター	○ 市役所付近を中心として、図書館、(仮)地域交流センター、(仮)子ども総合支援センター、公園の整備をはじめ、都市中枢機能の集約・更新が図られた。また、災害時の防災副拠点として市役所との連携を図ることができるようになった。 ○ 複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、隣接する市役所駐車場の利用ができることから、(仮)地域交流センター及び図書館利用時の利便性が向上した。 ○ 公園が計画的に整備されたことで、近隣住民が安心して使用できる施設が確保された。		● 中心市街地のにぎわいが創出されることで、施設を利用する歩行者・自転車や駐車場に出入りする車両が増加するため、安全の確保が求められる。 ● 土地の高度利用や既存市街地の整備を促進し、さらなる活力のある中心市街地を形成する。

2 今後のまちづくり方策

項 目	基本的な考え方	想定される事業(案)
図書館・地域交流センターの利用促進	・ 図書館や(仮)地域交流センターの利用促進を図るための企画の立案や各種情報の提供を推進する。	・ 利用ニーズに応える図書の実装 ・ 読み聞かせ等、各種企画の実施 ・ 子育て支援センター等との相互の循環の形成(お互いの施設のパンフレットや施設案内の配布) ・ 各種企画に関する情報の提供や図書関連の情報提供 ・ 生涯学習講座に関するニーズの把握と、開設講座の充実 ・ 学校や各施設と連携した展示企画などの検討・開催
公共施設の維持管理	・ 安全・安心な施設を維持するため、定期的な点検や早期修繕を行う。	・ 予防保全的な管理の実施 ・ 公共施設の管理計画の策定 ・ 地域住民等による清掃活動・美化活動の実施 ・ 定期的な除草作業の実施
交流・活動拠点と周辺施設とのネットワークの維持・改善	・ 中心市街地への来訪を促すため、公共交通の維持、充実、中心市街地と周辺施設との連携に更なる利用促進を図る。	・ 民間バス、コミュニティバスの運行継続と利便性の向上 ・ ウォーキングマップのPR ・ 歴史民俗資料館、石川家住宅との連携 ・ 歩行・自転車利用環境づくりの促進
中心市街地のにぎわい創出・安全対策	・ コンパクトなまちづくりの観点から、賑わいの創出や、歩行者・自転車の安全確保や安全対策を推進する。	・ 居住の促進、空き家活用などの中心市街地の活性化の促進 ・ 駐車場出入口付近における安全対策の実施 ・ 公共施設周辺の歩行者・自転車の安全対策

都市再生整備計画 事後評価シート

みよし市なかよし中央地区

平成29年11月

愛知県みよし市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	みよし市		地区名	なかよし中央地区			面積	38.2
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	2,337		国費率	0.499	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名										
		基幹事業	中島地区公園整備(公園)、複合施設周辺サイン(地域生活基盤施設(情報板))、(仮)地域交流センター(高次都市施設(地域交流センター))									
		提案事業	(仮)図書館(地域創造支援事業)									
	当初計画から削除した	基幹事業	—				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		基幹事業	—				—				—	
		基幹事業	(仮)情報のみち整備事業(高質空間形成施設(カラー舗装))				文化、情報発信、交流拠点となる図書館と地域交流センターを併設した複合施設と隣接する各種公共施設のアクセスを担うルートとして位置付けられるため、関連事業から基幹事業へと変更する。				影響なし。	
	新たに追加した事業	基幹事業	図書館(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設))				文化、情報発信、交流拠点となる図書館と地域交流センターを併設した複合施設を市役所駐車場内に建設することで施設の更新と機能の増強を図り、今まで交流する機会の乏しかった市内3地区の市民交流を盛んにし、中心拠点区域の賑わいを創出する施設として、提案事業から基幹事業へと変更する。				(指標2)市民一人当たりの図書利用冊数に関わるため、目標値を6.7冊/人から6.9冊/人へ変更して対応した。	
		提案事業	—				—				—	
	交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—					
		変更	なし									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	交流施設の利用者数	人/年	47,355	H25	50,559	H29	—	65,423	○	あり	(仮)地域交流センターの整備により、文化、学習、交流に関して高度化、多様化した市民ニーズへの対応が可能となるとともに、複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、利便性が向上した。この結果、(仮)地域交流センターの利用者が増加し、目標達成へとつながった。	平成30年4月
										なし			
	指標2	市民一人当たりの図書利用冊数	冊/人	5.7	H25	6.9	H29	—	6.4	△	あり	●複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、図書館利用の利便性が向上した結果、図書館利用者が整備前に比べ、2倍以上に増加している。一方、図書の1人当たりの貸出冊数の見直しや新刊の収蔵数が少なくなったことの影響から目標値を下回る結果となった。	平成30年4月
										なし			
指標3	さんさんバス利用者数	人/年	6,180	H25	6,580	H29	—	13,465	○	あり	(仮)地域交流センター及び図書館の整備により、市役所付近に市民が安全に、また、安心して交流出来る拠点が整備された。また、バス停の集約により利便性の向上が図られた。これにより、施設に隣接するさんさんバス「市役所西バス停」の利用者数増加につながった。	平成30年4月	
									なし				
指標4	市内の1人当たりの公園面積	m ² /人	12.4	H25	12.9	H29	—	14.5	○	あり	公園が計画的に整備されたことで、市民が安全で安心して活用出来る施設が増加した。このため、1人当たりの公園面積の実績値が評価値を上回る結果となった。	—	
									なし				

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	その他の数値指標1	おはなし会・講座などの催し物の満足度	%	82.1	H25			91.8(H28)				満足度が上昇しており、施設整備による効果の発現がみられる。	—
	その他の数値指標2	全体の満足度	%	88.7	H25			90.2(H28)				図書館利用者の満足度が高く、また88.7%から90.2%に増加しており、施設整備による効果の発現がみられる。	—
	その他の数値指標3	図書館利用者数	千人/年	110.9	H25			274.5(H29)				図書館利用者数が2倍以上に増加し、施設整備による効果の発現がみられる。	—
	その他の数値指標4	来館のしやすさの満足度	%	83.3	H25			86.1(H28)				満足度が上昇しており、施設整備による効果の発現がみられる。	—
	その他の数値指標5	緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	%	68.7	H25			70.6(H27)				満足度が上昇しており、公園整備による効果の発現がみられる。	—
	その他の数値指標6	生活環境の確保の満足度	%	62.0	H25			66.9(H27)				満足度が上昇しており、公園整備による効果の発現がみられる。	—

4)定性的な効果発現状況	・(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ「サンライプ」)では、旧図書館より閲覧スペースが大幅に増えたことで、図書館内で本を閲覧する利用者が多く見られるようになった。 ・市役所西バス停が一つに統合されたことにより、バス停間の移動がなくなり、安全性が向上した。												
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			
	住民参加プロセス	○(仮称)みよし市図書館学習 交流 プラザ愛称募集 ○図書館学習交流プラザ「サンライプ」内覧会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ なし			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			

様式2-2 地区の概要

[illegible]

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値	●		指標「市民一人当たりの図書利用冊数」の数値目標について、従前値の5.7冊/人から6.7冊/人を目指す。	数値目標を0.2冊/人上方修正し、6.9冊/人に変更。	図書館と関連事業の「(仮)子ども総合支援センター」の相互利用が進められることにより、図書の貸出冊数の増加が期待できる。
D. その他()		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

[illegible]

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	(仮)図書館	1,627	A=4,452㎡	－	－	提案事業から基幹事業に変更	指標及び数値目標への影響なし。	－	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
(仮)駐車場整備事業			15	15	平成29年度～平成29年度	平成29年度～平成29年度	完成	A=1,800㎡ (当初から変更なし)
(仮)情報のみち整備事業			3	－	平成27年度～平成28年度	－	－	基幹事業で実施
前田緑道整備事業			120	120	平成25年度～平成29年度	平成25年度～平成29年度	完成	A=5,000㎡ (当初から変更なし)
(仮)子ども総合支援センター			－	100	－	平成28年度～平成28年度	完成	A=671㎡ (既存建造物活用)

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	交流施設の利用者数	人/年	複合施設の利用者の内、図書利用者以外の利用者数(人/年)を計測	-	-	47,355	H25	50,559	H29	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	●	65,423	事後評価	○	
指標2	市民一人当たりの図書利用冊数	冊/人	図書貸出冊数と人口をもとに、年間、一人当たりの図書利用冊数(冊/人)を計測	-	-	5.7	H25	6.9	H29	モニタリング			モニタリング		●	
										事後評価	確定 見込み	●	6.4	事後評価	△	
指標3	さんさんバス利用者数	人/年	1年当たりの市内巡回バスの市役所西バス停の1年間の利用者数(人/年)を計測	-	-	6,180	H25	6,580	H29	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	●	13,465	事後評価	○	
指標4	市内の1人当たりの公園面積	㎡/人	市内の供用済み都市公園の面積と人口をもとに、1人当たりの公園面積(㎡/人)を計測	-	-	12.4	H25	12.9	H29	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	●	14.5	事後評価	○	
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み			事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	(仮)地域交流センターの整備により、文化、学習、交流に関して高度化、多様化した市民ニーズへの対応が可能となった。この結果、(仮)地域交流センターの利用者が増加し、目標達成へとつながった。	
指標2	図書の1人当たりの貸出冊数の見直しや、収蔵冊数が目標を下回り、新刊の収蔵数が少ない状況にあることも影響し、市民一人当たりの図書利用冊数は増加したものの、事後評価時点では目標値には至っていない。一方、平成29年度の月別の貸出冊数は着実に増加しており、1年以内の数値目標達成の可能性が大きい。	
指標3	市役所付近に市民が安心安全に交流出来る拠点が整備され、にぎわいが創出されたこと、以前、道路の両側に配置されていた「市役所西バス停」を施設に併設させて1箇所に統合することで、安全性及び利便性が向上したことにより、さんさんバス「市役所西バス停」の利用者数増加につながった。	
指標4	公園が計画的に整備されたことで、市民が安全で安心して活用出来る施設が増加した。このため、1人当たりの公園面積の実績値が評価値を上回る結果となった。	
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	おはなし会・講座などの 催し物の満足度	%	「指標1 交流施設の利用者数」の補完指標として、平成28年度の「みよし市立中央図書館 利用者アンケート」の結果より、「おはなし会・講座などの催し物」の満足度を評価値として採用	-	-	82.1	H25	モニタリ ング			指標「交流施設の利用者数」を補完するとともに、(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ『サンライプ』)の整備効果を把握するために実施。	
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標2	中央図書館利用者の満足度(全体の満足度)	%	「指標1 交流施設の利用者数」、「指標2 市民一人当たりの図書利用冊数」の補完指標として、平成28年度の「みよし市立中央図書館 利用者アンケート」の結果より、「全体の満足度」を評価値として採用	-	-	88.7	H25	モニタリ ング			指標「交流施設の利用者数」及び「市民一人当たりの図書利用冊数」を補完するとともに、(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ『サンライプ』)の整備効果を把握するために実施。	
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標3	図書館利用者数	千人	「指標2 市民一人当たりの図書利用冊数」の補完指標として、市の「図書館統計」より、図書館の年間入館者数(平成28年7月～平成29年6月までの12ヶ月間)を評価値として採用	-	-	110.9	H25	モニタリ ング			指標「市民一人当たりの図書利用冊数」を補完するとともに、(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ『サンライプ』)の整備効果を把握するために実施。	
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標4	来館のしやすさの満足度	%	「指標3 さんさんバス利用者数」の補完指標として、平成28年度の「みよし市立中央図書館 利用者アンケート」の結果より、「来館のしやすさの満足度」を評価値として採用	-	-	83.3	H25	モニタリ ング			指標「さんさんバス利用者数」を補完するとともに、施設へのアクセス向上に対する効果を把握するために実施。	
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標5	緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	%	「指標4 市内の1人当たりの公園面積」の補完指標として、平成27年度の「行政評価に関するアンケート」の結果より、「緑豊かで快適な美しいまちづくり」の満足度を評価結果として採用	-	-	68.7	H25	モニタリ ング			指標「市民の1人当たりの公園面積」を補完するとともに、公園の整備効果を把握するために実施。	
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標6	生活環境の確保の満足度	%	「指標4 市内の1人当たりの公園面積」の補完指標として、平成27年度の「行政評価に関するアンケート」の結果より、「生活環境の確保」の満足度を評価結果として採用	-	-	62.0	H25	モニタリ ング			指標「市民の1人当たりの公園面積」を補完するとともに、公園の整備効果を把握するために実施。	
								事後評価	確定 見込み	●		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ『サンライプ』)では、旧図書館より閲覧スペースが大幅に増えたことで、図書館内で本を閲覧する利用者が多く見られるようになった。
- ・市役所西バス停が一つに統合されたことにより、バス停間の移動がなくなり、安全性が向上した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
(仮称)みよし市図書館学習交流プラザ 愛称募集	予定どおり実施した	応募期間：平成27年6月15日(月)～27年7月15日(水)	今後も市民の意見を聞いて、地区内の整備を図る。
	予定はなかったが実施した	○ 市内在住者、市内在学者及び市内在勤者を対象に、(仮称)みよし市図書館学習交流プラザの愛称を募集した。応募総数205点から、「サンライズ」に決定。	
	予定したが実施できなかった (理由)		
図書館学習交流プラザ「サンライズ」内覧会 の開催	予定どおり実施した	開催時期：平成28年6月25日(土)、6月26日(日)：計12回	今後も、図書館学習交流プラザ「サンライズ」が、広く市民へ周知されるための取組を実施する。
	予定はなかったが実施した	○ 市内在住、在学、在勤者を対象として、定員を先着60名として内覧会を実施し、サンライズ開館にむけて市民へ周知を図った。	
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (「みよし市なかよし中央地区」都市再生整備計画事業事後評価 庁内検討部会)	関係各課担当職員(企画政策課、子育て支援課、道路河川課、下水道課、都市計画課、公園緑地課、教育行政課、生涯学習推進課)	平成29年8月23日(水)	生涯学習推進課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標3		指標4			
指 標 名		交流施設の利用者数		さんさんバス利用者数		市内の1人当たりの公園面積			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	(公園)中島地区公園整備 (地域生活基盤施設(情報板)(地方都市リノベーション事業))複合施設周辺サイン	-	(仮)地域交流センターの整備により、文化、学習、交流に関して高度化、多様化した市民ニーズへの対応が可能となった。	-	(仮)地域交流センター及び図書館の整備により、市役所付近に市民が安心安全に交流出来る拠点が整備され、にぎわいが創出された。	◎	公園が計画的に整備されたことで、市民が安全で安心して活用出来る施設が増加した。 このため、1人当たりの公園面積の実績値が評価値を上回る結果となった。		
	(高質空間形成施設(カラー舗装))(仮)情報のみち整備事業	◎		○		○			
	(高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業))(仮)地域交流センター	◎		◎		-			
	(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設))図書館	○		◎		-			
提案事業			併せて、複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、(仮)地域交流センター利用に対する利便性が向上した。		以前、道路の両側に配置されていた「市役所西バス停」を施設に併設させて1箇所に統合することで、安全性及び利便性が向上した。				
関連事業	(仮)駐車場整備事業	○	この結果、(仮)地域交流センターの利用者が増加し、目標達成へとつながった。	-	これにより、(仮)地域交流センター及び図書館に隣接するさんさんバス「市役所西バス停」の利用者数増加につながった。	-			
	前田緑道整備事業	-		-		◎			
	(仮)子ども総合支援センター	○		-		-			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も(仮)地域交流センターを、市民交流の拠点として活用していくため、広く市民に向けて、各種事業の情報発信を行うとともに、市民自らが行う、文化・学習・交流活動及び情報発信の支援に努める。	市民の交流拠点を有効活用し、にぎわいを維持していくため、今後も交通手段を確保しつづける必要がある。 また、将来ビジョンに従い、公共公益施設の整備や商業施設の充実を図る。	今後も継続して、安全で安心して活用出来る施設を維持するため、定期的な清掃などを始め、公園施設の計画的な維持管理に努める。
-------	---	---	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		
指 標 名		市民一人当たりの図書利用冊数		
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	(公園)中島地区公園整備	—	図書館が整備されたことで、文化、学習、情報発信の拠点が確保された。また、複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、図書館利用の利便性が向上した結果、図書館利用者数が整備前に比べ、2倍以上に増加し、図書館利用の満足度も向上している。 図書の1人当たりの貸出冊数は、旧図書館では無制限であったが、現在は20冊に見直されている。また、収蔵冊数が目標を下回っており、新刊の収蔵数が少ない状況にある。 この様な影響から、市民一人当たりの図書利用冊数は5.7冊から6.4冊へと増加したものの、目標値には届かなかった。	IV
	(地域生活基盤施設(情報板)(地方都市リノベーション事業))複合施設周辺サイン	○		
	(高質空間形成施設(カラー舗装))(仮)情報のみち整備事業	○		
	(高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業))(仮)地域交流センター	○		
	(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設))図書館	◎		
提案事業				
関連事業	(仮)駐車場整備事業	○		
	前田緑道整備事業	—		
	(仮)子ども総合支援センター	○		

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	読み聞かせ会の定期的な開催をするともに、旧図書館跡にオープンした子育て総合支援センターなどとも協力して、親子づれや子どもの利用促進に努める。 また、情報提供や企画立案により、図書館の利用促進を図るとともに、収蔵図書の充実を図る。
------------------	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (「みよし市なかよし中央地区」都市再生整備計画 庁内検討部会)	関係各課担当職員(企画政策課、子育て支援課、道路河川課、下水道課、都市計画課、公園緑地課、教育行政課、生涯学習推進課)	平成29年10月24日(火)	生涯学習推進課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
課題1 文化・学習・交流の拠点形成 中心市街地内の特性、資源を生かし、景観等に配慮した、知的、文化的ニーズ、自己表現の自主的な活動及びみよし市の情報発信による多用途的な交流を創出する文化、学習、交流の拠点形成を図る。	・図書館、生涯学習、公民館、交流機能の更新により、4つの機能を集約したことで、文化、学習、情報発信の拠点が確保され、今まで交流の少なかった市内3地区の市民交流の活性化に寄与した。 ・市役所をはじめ、三好公園などの周辺施設と中心拠点との連携ができ、ネットワークの良好性が向上した。	・図書館の利用者数、貸出冊数は増加しているものの、今後も図書館の利用促進を図るための企画立案を始め、情報提供など、各種対策が求められる。	・整備された拠点施設や緑道等の利用促進を今後も図ることが求められる。 ・生涯学習講座の充実や(仮)地域交流センターを活用する新たな企画などの立案により、施設の利用促進を図ることが求められる。
課題2 施設の更新・再配置 中心市街地の公共施設は古くに建設されたものであり、狭小で陳腐化しているとともに老朽化が著しく進んでおり、本市の人口に見合った規模の魅力ある施設に更新しながら再配置を行う。	・中心市街地の老朽化した施設の更新が図られ、旧図書館を(仮)子ども総合支援センターとして既存ストックを有効活用し、子育てに関する相談窓口、親子で遊べるふれあい広場、ファミリーサポートセンターを移転させることで、子育て世帯をサポートする拠点が確保された。 ・「市役所西バス停」を施設に併設させて1箇所に統合することで、安全性及び利便性が向上した。	—	・安全・安心な公共施設を維持するため、適切な施設の管理・運営が求められる。 ・さらなる市民間交流のための、バス等の交通網のアクセス環境の維持・改善を図ることが求められる。
課題3 市民間交流のための施設整備 きたよし地区、なかよし地区、みなよし地区の住民が交流する機会が少ないため、地区間、市民間交流の機会を増やすための施設整備を図る。			
課題4 都市中枢機能の集約・更新 今後、本市が直面する、少子、高齢化に備え、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを行っていく必要があるため都市中枢機能の集約・更新を図る。	・市役所付近を中心として、図書館、(仮)地域交流センター、(仮)子ども総合支援センター、公園の整備をはじめ、都市中枢機能の集約・更新が図られた。また、災害時の防災副拠点として市役所との連携を図ることができるようになった。 ・複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、隣接する市役所駐車場の利用ができることから、(仮)地域交流センター及び図書館利用時の利便性が向上した。 ・公園が計画的に整備されたことで、近隣住民が安心して使用できる施設が確保された。	—	・中心市街地内の特性、資源を生かし、景観等に配慮した、知的、文化的ニーズ、自己表現の自主的な活動及びみよし市の情報発信による多用途的な交流を創出する文化、学習、交流の拠点形成を図る。 ・土地の高度利用や既成市街地の整備を促進し、さらなる活力のある中心市街地を形成する。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	公共施設の維持管理	安全・安心な施設を維持するため、定期的な点検や早期修繕を行う。	・予防保全的な管理の実施 ・公共施設の管理計画の策定 ・地域住民等による清掃活動・美化活動の実施 ・定期的な除草作業の実施
	中心市街地のにぎわい創出・安全対策	コンパクトなまちづくりの観点から、賑わいの創出や、歩行者・自転車の安全確保や安全対策を推進する。	・居住の促進、空き家活用などの中心市街地の活性化の促進 ・駐車場出入口付近における安全対策の実施 ・公共施設周辺の歩行者・自転車の安全対策

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	図書館・地域交流センターの利用促進	図書館や(仮)地域交流センターの利用促進を図るための企画の立案や各種情報の提供を推進する。	・利用ニーズに応える図書の充実 ・読み聞かせ等、各種企画の実施 ・子育て支援センター等との相互の循環の形成(お互いの施設のパンフレットや施設案内の配布) ・各種企画に関する情報の提供や図書関連の情報提供 ・生涯学習講座に関するニーズの把握と、開設講座の充実 ・学校や各施設と連携した展示企画などの検討・開催
	交流・活動拠点と周辺施設とのネットワークの維持・改善	中心市街地への来訪を促すため、公共交通の維持、充実、中心市街地と周辺施設との連携に更なる利用促進を図る。	・民間バス、コミュニティバスの運行継続と利便性の向上 ・ウォーキングマップのPR ・歴史民俗資料館、石川家住宅との連携 ・歩行・自転車利用環境づくりの促進

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度		年度							予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	交流施設の利用者数	人/年	47,355	H25	50,559	H29	確定 見込み ●	65,423	○	あり なし	→	平成30年4月	複合施設の利用者の内、図書利用者以外の利用者数(人/年)を計測	-
指標2	市民一人当たりの図書利用冊数	冊/人	5.7	H25	6.9	H29	確定 見込み ●	6.4	△	あり なし ●	→	平成30年4月	図書貸出冊数と人口をもとに、年間、一人当たりの図書利用冊数(冊/人)を計測	-
指標3	さんさんバス利用者数	人/年	6,180	H25	6,580	H29	確定 見込み ●	13,465	○	あり なし	→	平成30年4月	市内巡回バスの市役所西バス停の1年間の利用者数(人/年)を計測	-
指標4	市内1人当たりの公園面積	m ² /人	12.4	H25	12.9	H29	確定 見込み ●	14.5	○	あり なし	→	平成30年4月	市内の供用済み都市公園の面積と人口をもとに、1人当たりの公園面積(m ² /人)を計測	-
指標5							確定 見込み			あり なし	→			
その他の数値指標1	おはなし会・講座などの催し物の満足度	%	82.1	H25			確定 見込み ●	91.8			→	平成30年度内	指標「交流施設の利用者数」を補完するとともに、(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ『サンライズ』)の整備効果を把握するために実施。	平成29年度みよし市中央図書館利用者アンケート結果が公表され次第実施
その他の数値指標2	中央図書館利用者の満足度(全体の満足度)	%	88.7	H25			確定 見込み ●	90.2			→	平成30年度内	指標「交流施設の利用者数」及び「市民一人当たりの図書利用冊数」を補完するとともに、図書館の整備効果を把握するために実施。	平成29年度みよし市中央図書館利用者アンケート結果が公表され次第実施
その他の数値指標3	図書館利用者数	千人	110.9	H25			確定 見込み ●	274.5			→	平成30年4月	指標「市民一人当たりの図書利用冊数」を補完するとともに、図書館の整備効果を把握するために実施。	
その他の数値指標4	来館のしやすさの満足度	%	83.3	H25			確定 見込み ●	86.1			→	平成30年度内	指標「さんさんバス利用者数」を補完するとともに、施設へのアクセス向上に対する効果を把握するために実施。	平成29年度みよし市中央図書館利用者アンケート結果が公表され次第実施
その他の数値指標5	緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	%	68.7	H25			確定 見込み ●	70.6			→	平成30年度内	指標「市民の1人当たりの公園面積」を補完するとともに、公園の整備効果を把握するために実施。	平成29年度行政評価アンケート結果が公表され次第実施
その他の数値指標6	生活環境の確保の満足度	%	62.0	H25			確定 見込み ●	66.9			→	平成30年度内	指標「市民の1人当たりの公園面積」を補完するとともに、公園の整備効果を把握するために実施。	平成29年度行政評価アンケート結果が公表され次第実施

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	数値指標のほか、「みよし市立中央図書館 利用者アンケート」や「行政評価に関するアンケート」などから補完指標を設定し、事業効果を把握することができた。	事後評価においては、住民の意識を十分に把握し、実現性の高い今後のまちづくり方策を検討することが望ましい。
	うまく いかなかった点	-	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	図書館学習交流プラザ「サンライズ」の愛称を市民から募集することで、広く市民に親しまれる施設として整備することができた。	今後も、市民に親しまれた施設とするために、生涯学習講座の充実や新たな企画の立案とともに、更なる周知活動を実施することが望ましい。
	うまく いかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	毎年、「みよし市立中央図書館 利用者アンケート」を実施しており、ニーズにあわせた改善を実施することができた。	今後も、「みよし市立中央図書館 利用者アンケート」を実施し、市民の意向を把握することが望ましい。
	うまく いかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	・市ホームページでの公表	H29. 9. 16～H29. 9. 30	H29. 9. 16～H29. 9. 30	担当課への メール、郵送、直接窓 口	生涯学習推進課(都市 再生整備計画事業主 管課)
広報掲載・回覧・個別配布	・広報によりホームページ、生涯学習推進課での閲覧のお知らせ文の掲載	平成29年9月15日発行 広報みよし9月15日号	H29. 9. 16～H29. 9. 30		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	生涯学習推進課での閲覧	H29. 9. 16～H29. 9. 30	H29. 9. 16～H29. 9. 30		

住民の意見	なし
-------	----

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	三宅 章介(東海学園大学名誉教授)	第1回 平成29年9月22日(金) 第2回 平成29年11月16日(木)	生涯学習推進課	みよし市なかよし中央地区都市再生整備事業事後評価検討会議設置要綱	独自に設置
その他の委員	専門知識を有する者 小野田文則(三好上区長) 金子 正明(中島区長) 富樫佐智子(みよし市文化協会会長) 三井 敬子(図書館協議会副会長) 谷端 浩明(みよし悠学カレッジ受講生代表)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特になし
	成果の評価	図書館自体が大きなものとして整備されたので、目標値が低いように思われる。
	実施過程の評価	特になし
	効果発現要因の整理	北部では、サンライズについて知らない人も多いように思われる。 さんさんバスについて、時刻表や路線について更なる工夫が必要ではないか。
	事後評価原案の公表の妥当性	案はホームページや広報により、市民に対して適正に公表されたことが確認された。
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		